

今夕メーデー前夜祭・映画「山谷」上映

夜6時 三角公園に結集を！せめて明日も！

メーデーは労働者の 示威運動である

仲間たち！ 明日は才十七回目の釜ヶ崎メーデーだ。

メーデーは今から百年前に、アメリカの労働者が八時間労働制を要求して果敢に闘ったことを契機に始められたものだ。日本においては当初、メーデー茶話会といった一部活動家の催しとして始められたが、労働者の結集が弱い間は日曜日を選んで開催するなどしながら、その定着・拡大がはかられてきた。

メーデーはこのように、労働者の団結の力、闘争姿勢を示す示威運動として始められ受けつがれてきたものだ。

にもかかわらず、同盟は、今さらデモでもあつまい」とデモ行進をおこなわず、総評もお祭り色を強めてきている。高度成長時代にわずかなおこぼれで牙を抜きこられた感のある企業内労組の幹部たちは、企業経営者と一体となって企業防衛のために、組合員の首切、賃上げ抑制に加担する

(裏に続く)

メーデースローガン

仕事よこせ！

行革によるアスレ攻撃

福祉切り捨てを粉砕するぞ

アオカン狩りを許すな

天皇式典・堺植樹祭

東京サミット粉砕

天皇主義右翼！

国粹会金町一家解体・掃

釜ヶ崎解放

'86
4月
30日

全国日雇労働組合協議会
釜ヶ崎支部 釜ヶ崎日雇労働組合

電話 06-222-XXXX

資本による使い捨てを許すな 闘りメーデーの伝統を 釜ヶ崎に仕事をよこせ 守り抜こう。

よりにおならなっている。そのような労組幹部に対する不信と不満は組織労働者の中でも高まりつつある。

また、労働者派遣事業法、成立にみられるところ、我々日雇いと同等な不安定就労を強いられる労働者が増え続けている。使い捨て可能な労働力としてのパート労働者への依存も高まっている。

二のような事態は、再び日本において労働者の闘い力が高まりたいを得ないことを示している。かつて日本の生産性向上の旗振りをおこなってきた。日本生産性本部が四月に発表した報告では、企業は合理化を進めるにあたって、旧来の雇用慣行をそとにすることがないよう、温情をもってあたると同時に、勧告せざるを得ないほどの危機的情況が、平知で繁栄しているかのように表面には見える日本の真の姿なのだ。

生産現場での労働者の反乱を圧殺し、多くの人々の意識をこれまで企業従属的なものから国家従属的なものからめこり、再統合するために、現在、天皇がかつぎたされている。不安と不満にみちた生活から目をそらし、新国家体制の一員として生まれかわることを強要するものが、天皇在位六十年奉祝式典であり、堺植樹祭なのだ。

そして、リムパックの参加している。8、8艦隊に代表されるように、武力に頼って他国を圧殺し、強硬にアメリカの崩壊をたいメーデーに固執するレーガンにひたすら追従することによってのみおのれの政治生命の延長をはかろうとする中曾根は、軍事力の強大化をまつて、日本統治の二つの柱としている。

天皇主義と軍事力を統治の柱とする日本は、まさにかつての、大日本帝国の再来といつほかないものだ。

仲間たち、寄せ場においてはすでに、山谷の地で、文字どおり、血を流して、天皇主義右翼の暴力による支配に抗する闘いが続けられている。争いにおいては、我々がファシズムの予兆としてとらえた青カンや余儀なくされている仲間に対する脅威事件があった。

仲間たち！体制の側からする労働者への攻撃は、まず寄せ場の上に我々の上に、先鋭な形で襲いかかってくる。

資本の使い捨てに抗し、仕事をよこせ！の闘いを押し進めよう。アオカを余儀なくされる仲間を防衛しこまろう。釜ヶ崎メーデーに結集しよう。